

復活節第7主日・(白)

主日礼拝

2025年6月1日 10時20分～

司式:

奏楽:

《神の招き》

前奏 奏
招詞 詞
賛美歌 歌
『愛するイエスよ、我ら みことばを聞かん』 J.S. バッハ
ユダの手紙 1 章20節
I - 28

《神の言葉》

祈禱 書
聖霊の照らしを求める祈り
エレミヤ書10章1～10節a (旧約1179頁)
ルカによる福音書24章44～53節 (新約159頁)

こども説教
交読詩編 詩編93編1～5節 (111頁)

賛美歌 338
説教 「祝福しながら」 八木浩史牧師

祈禱
賛美歌 564

《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条
献金 金
祈禱 献金当番
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派遣》

頌栄 25
祝福 福
報告 告
後奏 奏
6月誕生者祝福

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像:

■■■ 調布教会は2026年度に創立80周年を迎えます! ■■■

「祝福しながら」

『エレミヤ書』では、バビロン捕囚の中にあるイスラエルの民に、主なる神への信仰を堅く保つよう勧めています。バビロンでは占星術が盛んに行われていました。「天のしるしにおののいてはならない」とは、天体の動きによって占いをしてはいけないという警告です。またバビロンでは偶像崇拜も盛んでした。しかしそれは神ではなく、「森から切り出された木」、「木工の手によって斧で造られたもの」、「きゅうり畑のかかしのよう」なものです。銀箔や金箔で美しく造られていても、やがては崩れていくのです。そのようなものを恐れてはならず、崇めてもいいけない。それらは何の力も持たないのです。崇めるべきは主なる神であり、この御方こそ「真実の神、命の神、永遠の王」なのです。見えない神こそ、信頼できるのです。

『ルカによる福音書』では、復活の主イエスが天に昇って行かれる場面です。十字架で死なれた主イエスは復活されたのに、またお姿が見えなくなられたのは残念に思っています。しかし主イエスを見送った弟子たちは、「大喜び」で主イエスが殺されたエルサレムに戻り、隠れることなく、目立つ神殿の境内に絶えずいて、

「神をほめたたえていた」とのこと。主イエスが見えなくなられたからこそ、聖霊を遣わしてくださり、全世界の全ての人と共にあり、同時に守ることができるのです。主イエスは「(両)手を上げて」

「祝福しながら」昇天されました。その祝福は永遠に続いているのです。私たちの礼拝も「祝福」によって終わります。主イエスに祝福されて、「大喜び」で世に出て行くのです。